

# 桜工

日本大学工科校友会

No. 60 1979

「巻頭言」	名簿の整備こそ要である…加藤理工学部長…	2
	会長挨拶…辰村米吉…	2
増設学科	海洋建築工学科…	3
	“ 航空宇宙工学科…	4
	“ 電子工学科…	4
特集	第1回理工学部学術賞授与さる…	5
	“ ……学術賞を受賞して…石丸辰治…	5
	“ ……学術賞を受賞して…江良喜信…	6
	日本大学90周年記念事業計画および募金要項…	6
部会だより	土木・建築・機械・電気・化学・薬学・精機・ 物理・数学…	7
地方支部だより	北海道・群馬県・長野県・愛媛県・岐阜県 長崎県(佐世保市)・鹿児島県・山形県…	12
職域支部だより	NHKさくら会・東京都建設桜工会…	14
本会関係記事	事務局…	16
	正会員終身会費昭和53年度納入者…	19
地方支部	“ ……	21
職域支部一覧表	“ ……	22

日本大学理工学部習志野校舍全景



総面積 388,000 m<sup>2</sup> 建坪延 67,100 m<sup>2</sup>

- (A) 図書館 (B) 大型構造物試験棟 (C) 風洞実験室 (D) 測量実験棟 (E) 航空実験室 (F) プラザ習志野  
(G) 総合水槽実験棟 (H) 武道館 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪ 教室, 実験室等 ⑨ 短期大学

## 「巻頭言」

日本大学理工学部長 加藤 渉



### 「名簿の整備こそ要である、

いまさらここで、大学を構成する三つの要素とは、などと解説をするつもりはないが、とにかく、大学では基礎学力を備えた有能な人材を育てることである。と同時に先生方は価値ある研究をしなければならない。

ひとりの人格のなかで、いずれにも偏向のないようにエネルギーの配分が望まれている。

そして卒業生としての校友は、自ら習得した専門的知識と技能を通して、社会的に大いに貢献するのであり、さらに後輩の進路を切り拓き支援していただきたいものである。

教授と学生と校友とが三位一体となり、有機的に機能している大学が世に名声を獲得しているのだから、そのひとつが欠けても発展に支障をきたすことになる。

ところで、本学の実情を省みると、教授と学生の努力も決して充分とは云いきれないが、校友の実態には、なおかなり改善さるべき余地がありそうだ。

藤田一暁氏らの献身的な努力によって、すでに桜門工業クラブが発足して、先輩校友との懇親に大きな成果をあげている。

とはいえ理工系各学部の卒業生名簿の整備が行届いているとは思えないしその例を見たことがなかった。

実は建築学科でも八年ほど前に一応の努力はしたのだったが、予算が不足でその成果はあまりあがらなかった。

このたび、桜門建築会の事業幹事和田文策氏個人

の大へんな努力によって理工、生産、郡山はもちろん短大も含めた、桜門の建築学科卒業生全員の立派な名簿がようやく昨年末、完成したような次第であった。

今後はこのように広く公平に連絡をとるための要となる名簿を常に整備することこそ校友会の業務として最優先すべきではあるまいか。

一日も早く各学科は三学部を含めた名簿を整備し大きな力を結集し校友相互のため、大学のために有益な仕事を強力に推しすすめてほしい。

## 御挨拶

日本大学工科校友会

会長 辰村米吉



私は、豊永前会長(現在日本大学校友会本部副会長)のあとをうけて53年5月の総会におきまして、3年間会長職をお預りすることになりました。

輝かしい歴史とともに先輩諸士が築いてこられた栄ある我が工科校友会の更に発展に努力致す所存であります。会員の皆様のご協力を宜敷くお願い申し上げます。

日本大学は時あたかも、昭和54年10月4日をもって創立90周年を迎えます。

当日は日本武道館に於て盛大に記念式典が挙行されることになっております。

広報調査資料の年表によりますと、明治22年10月4日、日本法律学校を設立、創立者は山田顕義にして金子堅太郎初代校長に就任。となっております。

尚、日本大学90周年記念事業募金趣意書の中の日本大学の生いたちと現状、と云う項を引用させていただきますと、山田顕義は吉田松陰門下の逸材で、明治維新の功労者としてその名を知られ、明治11年(36才)から24年まで、参議または大臣の地位にあって国政に参画、特にわが国の司法制度の確立、刑法・民法・商法などの基礎的大法典の編纂により、わが国の近代化につくした功績はまさに偉大であります。明治36年に日本大学と改称、大正9年には大学令による大学へ、さらに昭和24年4月に新制大学となり、飛躍的發展を続けています。創立以来89年、現在ではわが国最大の総合大学となり、大学院13研究科、大学専攻科1科をはじめ、法・文理・経済・商・芸術・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・農獣医の12学部、通信教育部4学部、短期大学部9科、さらに原子力研究所、司法研究所、総合科学研究所、

◎工科校友会会誌「桜工」委員

委員長 有田 耕政 (電気)  
委員 藤田 幹 (建築)  
委員 小池 昭一 (建築)  
委員 西村 哲 (機械)

委員 木村 吉己 (土木)  
委員 羽島 博 (土木)  
委員 関根 好文 (電気)  
委員 山田 翠 (化学)

委員 伊藤 和雄 (化学)  
委員 中山 隆 (土木)  
委員 平 栄 (薬学)

編集後記

今年もまた学生会員の卒業時期を迎え、社会人として校友の皆様の仲間に加はることになります。会誌「桜工」もお蔭げさまで「第60号」が刊行できるようになりました。今回は加藤理工学部長の「巻頭言」をいただき、また役員改選により新会長となられた辰村米吉氏の就任の「御挨拶」があり特集として、第1回日本大学理工学部学術賞授賞者の「御感想」の寄稿をお願いいたしました。

昭和54年3月19日発行

発行所 日本大学工科校友会  
東京都千代田区神田駿河台1-8  
電話 03-293-3251 内線 206  
振替 東京3-162710

印刷所 光星印刷株式会社